

聖徳太子が四天王寺を建立されて千四百数十年。仏教は日本人の精神基盤として、また日本文化を構築する上で、その後の歴史の中で大きな展開を遂げました。今年度は、「大阪と仏教」を通年のテーマとして、大阪という地域と仏教との関わりについて、様々な観点から学んでみたいと思います。前期は四天王寺を中心に考えていきましょう。なお、前期最終講では特別企画として、受講者の皆さんに四天王寺に足を運んでいただき、改めて四天王寺境内の旧跡・名所を訪ねますとともに、宝物館で寺宝を鑑賞していただきます。どうぞ奮ってご参加ください。

6/3(土)

13:30~15:00

## 【A】大阪仏教の社会救済の思想と歴史

―太子・行基・忍性など―

藤谷 厚生 教授

聖徳太子が建立された四天王寺は、当初から四箇院制による社会救済の場でした。今回は、大阪に関わる仏教者の社会救済の歴史的展開にポイントを置き、仏教の社会救済の思想とはどのようなものであったのかをいろいろと考えてみます。

6/17(土)

13:30~15:00

## 【B】『摂津名所図会』にみる四天王寺

―江戸時代の四天王寺に参詣してみよう―

南谷 美保 教授

江戸時代の名所ガイドともいえる『摂津名所図会』の四天王寺に関する記述や、江戸時代の絵画資料などを参考に、時空を超えて江戸時代の四天王寺に参詣してみましょう。江戸時代と現在の四天王寺とはどのように違っているのでしょうか。

7/1(土)

13:30~15:00

## 【C】徳川将軍家と四天王寺

―四天王寺所蔵文書を読み直して―

渡邊 慶一郎 講師

江戸時代の四天王寺では、徳川将軍家代々の位牌をお祀りし、祥月命日に法要を執り行っていたことが寺蔵文書から読み取れます。しかし、文書作成の時期によって異なる内容が確認されており、これまで不明な点がありました。そうした歴史の曖昧な点に注目して、文書を読み直すことで見えてきた将軍家と四天王寺の由緒を辿ります。

9/16(土)

13:30~15:00

## 【D】四天王寺境内参拝と見学(伽藍と宝物館)

―講義で学んだ内容を現地で確認してみよう―

四天王寺勸学部学芸員などの講師陣

座学で学んだ四天王寺について、実際に現地に行って、解説を聞きながら見学をすることで、学びをより深めます。宝物館では、「菩薩」と「徳川時代の四天王寺」をテーマとした展示を学芸員の解説付きでご覧いただきます。この日ご参加の方には、伽藍拝観料と宝物館入館料として500円をご負担いただきます。

## 受講申し込み方法

令和5年度

お電話でお申し込み

電話番号

072-956-3345

〔受付時間〕

9:30~17:00(日曜・祝日を除く)

受付完了

ご自宅へ関係書類をお送りします。

受講

受講初回は地域連携推進センターへお越しください。

教室をご案内します。(2回目以降は変更案内が無い限り同じ教室)